

編集後記

今月の特集は「支える」です。保育だけではなく、さまざまな分野で活躍されている方に「支える」という共通のテーマで書いていただきました。

*

私にとって、幼稚園の送り迎えが、「支える」ということを考えるきっかけになりました。

初めて上の子を入園させたときは、下の子連れて送り迎えをしなればなりませんでした。そして、その間に山のような家事をこなさなければなりません。そんな生活では、下の子が熱でも出したらすくお手上げです。

けれども、周りにいる先輩のお母さんたちに助けられました。困っている私に代わり送り迎えをしてくれたり、迎えに行ったら後もそのままの子を預かってくれたり、さらに夕方の方が家まで送り届けてくれる方もありました。最初のころ、私はそのような親切に戸惑いました。当時の私には同じようにお返しができる余裕がないことが明らかでした。そんなとき、どの人も気軽に「私もそうだった（上の子のときは助けられた）」のよ」と言うのでした。その一言は、私の気持ちを随分楽にしました。今はこの人たちに助けらるばかりでも、下の子が入園するころになって、別の困っている人の助けになることができるのならそれでいいのだと、思えるようになってきました。

(A)

幼児の教育

第九十八巻 第六号

(一九九九年六月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十一年六月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二丁目一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五丁目二

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一四一九

〒〇三―五三九五―六六一三(営業)

〒〇三―五三九五―六六〇四(編集)

振替 〇〇一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所「フレーベル館」にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。